

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号：CRC-119

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん (RAS野生型)	Pmab + mFOLFOX6	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	J Clin Oncol 28: 4697-705, 2010

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	バクティビックス 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴静注	60分	↓													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	60分	↓													
③	デキサート アロキシ 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 50mL	点滴静注	15分	↓													
④	レボホリナート* 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓													
⑤	エルプラット* 5%ブドウ糖液	85mg/m ² 250mL	点滴静注 (側管)	120分	↓													
⑥	5-FU 5%ブドウ糖液	400mg/m ² 50mL	点滴静注	5分	↓													
⑦	5-FU 生理食塩液	2400mg/m ² 適量	点滴静注	46時間	→													
*④と⑤は同時に投与																		

<注意事項/備考>

- ✓ Pmab：0.2または0.22μmのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ 検査：定期的な血中Mg値のモニタリングを（適宜Mg補正を）
- ✓ 原則として、皮下埋め込みポートより投与 / オキサリプラチンはレボホリナートの側管から同時に投与
- ✓ Pmab：1回投与量として1000mgを超える場合は、90分以上かけて点滴静注すること
- ✓ インフュージョンリアクション（Pmab）：初回から2回目に発現することが多い。悪寒、発熱、呼吸困難など。必要に応じて抗ヒスタミン薬やステロイド剤の投与
- ✓ ざ瘡様皮疹・皮膚乾燥予防（Pmab）：皮膚を清潔に保ち、刺激を避ける。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用
- ✓ 爪囲炎（Pmab）：遅発性（1か月後～）に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を